

平成31年第2回 総務文教委員会会議録

平成31年3月13日

第2委員会室

開 会： 午後1時47分

委員長 堀 井 文 博

副委員長 西 尾 努

2番委員 安 藤 直 実、3番委員 後 藤 康 司、4番委員 荒 田 雅 晴、5番委員 水 野 功 教

委員長 ; 定刻になりましたので、ただ今から平成31年第2回総務文教委員会を開催いたします。本日の会議は、先ほどの本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は次第書の順序で行いますので、よろしくお願いいたします。それでは初めに市長さんのご挨拶をお願いします。

市長 ; 改めまして皆さんこんにちは。本会議終了後、また補正予算を議決いただきましてありがとうございました。お疲れのところ第2回総務文教委員会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。全員協議会の中でも説明申し上げましたが、文化センターの工事の件、そして補正予算の件、特に補正予算は学校のエアコンの件でございます。何とか今年の夏に間に合うようにやりたいという思いで、追加ということではありますけれども、補正予算で出させていただきました。どうぞよろしくご審議いただきますようお願いいたします。

委員長 ; ありがとうございました。続きまして副議長さんご挨拶をお願いします。

副議長 ; それでは皆さんこんにちは。引き続きまして、総務文教委員会ということで、2件の議案がございますが、慎重審議の程よろしくお願いいたします。

委員長 ; ありがとうございました。それでは議題に入りますが、議案の内容は本会議において、詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めさせていただきます。なお、発言につきましては、委員長の許可を得て、必ずマイクのランプが点灯していることを確認してからお願いいたします。

委員長 ; それでは初めに、「議第40号 契約の締結について」を議題といたします。本件に対する質疑を行います。ご質疑ございませんか。5委員。

5番委員 ; 文化センターの改修ということで、工事に入る前の最後の第九の発表会がありましたが、今回の入札についての状況。何社が応募していて、呼びかけたのが何件で、

応募してもらいたい人は何件で、入札率はどれぐらいでと、状況について教えてください。

委員長 ; 恵那文化センター所長。

恵那文化センター所長 ; 入札の件についてお答えいたします。2月21日に指名競争入札で入札を行わせていただきました。入札参加者数は11社でございます。そのうち応札社数は5社でございます。落札率は98.99%となっております。

委員長 ; 5番委員。

5番委員 ; 二番札はいくらだったですか。

委員長 ; 恵那文化センター所長。

恵那文化センター所長 ; 資料を調べますので、少しお時間をお願いできますか。

委員長 ; 後で調べてお願いします。他にありませんか。2番委員。

2番委員 ; 関連ですが、少し前にどこかの町のホールの緞帳が落ちてきたという事件がございましたけども、今回の工事についてはその辺りの見直しとかもあるんでしょうか。

委員長 ; 恵那文化センター所長。

恵那文化センター所長 ; 今、委員がおっしゃられる件は3月8日に知多郡武豊町の中央公民館の講堂で緞帳が落下した件だと思います。これは、たけとよスマイル体操のリハーサル中に緞帳を上げる操作を町の職員がしていたところ多分、電動のボタンを押して上げ下げするものだと思いますが、緞帳が上がった状態で急に緞帳が下部までそのまま落ちてきたという状況です。そこに園児がみえて20名の内、6名が負傷されました。あと保育士の方が2名負傷ということで、救急搬送されたそうですが、いずれも軽傷で全員その日の内に帰宅が出来たということでございます。新聞報道とか武豊町のホームページを見る限りでは、まだ原因は調査中とのことであったんですが、こちらの緞帳が高さ5.5m、幅11mで約350kgというものでございます。1976年、昭和51年に完工されておりまして、約43年経過をしております。規模としましては恵那文化センターの集会室の緞帳とほぼ同じでございます。また、恵那文化センターより8年古いという状況でございます。巻き上げ機のチェーンが故障していたという報道もありましたので、何らかの老朽化かなと考えております。今回、文化センター大ホールの改修の吊り物改修の中にはそういった巻き上げ機の更新とワイヤーロープ、それから、緞帳を吊っているバトンという大きな鉄の金具があるのですが、そこにワイヤーで吊っていますが、そちらの方も改修させていただいて、安全対策をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員長 ; 他にご質疑ございませんか。

（「なし。」と言う者あり）

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。本件に対する討論はありませんか。

（「なし。」と言う者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第40号 契約の締結について」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

（全 会 一 致）

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第40号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 次に「議第41号 平成30年度 恵那市一般会計補正予算（第7号）（歳入歳出所管部分）」を議題といたします。本件に対する質疑はございませんか。1番委員。

1番委員 ; 12月に予算化された時の積算根拠。あと今回の変更内容についてですが、金額がかなり大きいので、再度説明をお願いします。

委員長 ; 教育総務課長。

教育総務課長 ; 12月補正時の工事費の積算ですけれども、普通教室の床面積から1部屋辺りの馬力をみております。標準の教室面積で64平米ということで3馬力程度のエアコンの能力で足りると見込んでおりましたが、設計委託業務が出てきましたところ、普通教室のエアコンの馬力が5馬力必要ということでありましたので、普通教室は5馬力、特別教室は10馬力相当のエアコンの能力が必要となったために、電力それから受電設備の改修が必要となり、多額の費用が必要となったというものでございます。

委員長 ; 他にご質疑はございませんか。1番委員。

1番委員 ; その時には、ある程度見積もりなんかを取られてやられたと思うんですけど、業者さんの説明で組んだわけですね。かなりそれだけ違っていたということですか。

委員長 ; 教育総務課長。

教育総務課長 ; 12月補正では、業者の見積もりは取っておらず、普通教室の標準的なところの馬力を見まして積算しておりますので、今回このように多額な補正予算を追加でしなければいけなかったことについては、もう少し委員おっしゃるとおり専門的な知識を持った方のご意見等を聞いて積算すればよかったと反省しております。申し訳ありませんでした。

委員長 ; 1番委員。

1 番委員 ; それでは今回の金額が確定となった設計委託について聞きたいんですけど、緊急を要するということで分離発注をされたと思うんです。5 本ですか。5 本発注をされた中で同じ業者さんが3 本ほど取ってみえと。緊急性のことを考えれば、例えば工期の短縮なんかも考えれるわけで、今回の終わりがどうも3 月 29 日という発注になっていますが、例えば業者がこの日に完成品を届けてきたときに、3 月議会にはどちらにせよ間に合いませんよね。そういったようなことが、先ほど市長さんも言われましたけれど早期設置、もちろん議会としても子ども達のためなので早く付けていただきたいというのは十分に思うんですけど、この辺の日程というか期間の考え方というのは、どういうふうに考えてみえるのか。

委員長 ; 教育総務課長。

教育総務課長 ; 9 月議会で議決をいただいた後に施行決裁、それから入札の期間を考慮いたしました。また、県の標準工期を参考にしまして委託業務の工期の設定は 1,000 万円以下の場合には 150 日以内とありましたので、11 月 5 日から 3 月 29 日までということで設定しておりました。夏までに早く設置したいということで、今回、委員がおっしゃられるとおりの業務を 5 つに分けて発注しておりましたが、3 カ所を同じ業者が取られたということで想定外でしたが、落札されてから口頭で小学校から優先して設計を上げてほしいということと、2 月末を目処に金額だけでも分かるようにしてほしいということで依頼しました。3 月に上がってきたところで積算を精査した結果、不足が分かったというような状態であります。

委員長 ; 1 番委員。

1 番委員 ; 特別な緊急性と考えれば特記事項みたいなふうで短縮するだとかは考えれるような気はするので、命に関わるような話です。極力、今後はそういうふうに注意をしていただいて契約なりを考えていただければありがたいと思います。

委員長 ; 教育総務課長。

教育総務課長 ; 次からは、こういったことがないように知識を持った方等の意見を伺いながら積算していきたいと思います。

委員長 ; 他にご質疑ございませんか。5 番委員。

5 番委員 ; 今回、補正で当初予算と比べていくら増えたわけですか。30 年度の予算は。

委員長 ; 財務課長。

財務課長 ; 当初予算が 254 億 7,000 万円でしたので、今が 287 億 3,000 万円ですので、32 億円ほど増えたということです。この中には災害等の復旧費等も入っております。

委員長 ; 5 番委員。

5 番委員 ; 当然、緊急で当初に含められなかったもの、どうしても必要なものということで補正予算は組んでもらっておるわけだけど、月曜日の一般質問で私もびっくりしたわけだけど、恵那市の財政、財布はどんな按配かと、それなりに長期にみてやっているんじゃないかと思ったんだけど、ぽこぽことね、必要だから必要だからと出していけば切りがないと。誰が見とるんかと。この間、一般質問なんかで話を聞いてみると結局は議会がチェックをしないと難しいのではないかと。やはり行政としては少しでも市民の声を聞きたいという格好でいろいろなことをやられると。また総合計画に無いことでも市長が良いと思えば突っ込んでいくというようなこともあると。そういうところから見ると、やはり議会がしっかり見ていかなあかんと。ついてはそれなりに議会からの提案なんかも。今回の3委員会ではいろいろと注文が出ておりました。それはしっかりと聞いてもらわなあかんと思うけど、本当にこれからお金がどれだけいるかということを聞いても、それはまだ今年30年度、31年度に国から指導が出ているので、それに合わせてやるというようにと。国に言われてからやるような答弁を貰って本当にがっかりした。誰が考えていくのかと。恵那市の経営の話も出ていたけど、もう少し慎重にというか、必要なものしか予算化させないから余分なものは無いかと思うけども。しかし、それなりに市民の声が強いかどうか緊急だからということでやるのではなしに、それなりの枠を付けて行くべきだと。それについて副市長さん、どうですかね。

委員長 ; 副市長。

副市長 ; 今回の件は、昨年の7月8月の猛暑により非常事態ということで、エアコンを設置するものですので、ご理解をお願いいたします。

委員長 ; 5 番委員。

5 番委員 ; 私が聞いたのはそうではなしに、こうして当初予算に対して1割かかったアップをしていくと。これについて、どのようにコントロールしていくのかと。そのような考え方、副市長として、どうこれまで見てきたか、それなんかについても併せて返事がほしい。

委員長 ; 副市長。

副市長 ; 当然、長期の財政計画を歳入を見通して作っておりますので、ご理解をお願いします。

委員長 ; 5 番委員。

5 番委員 ; 長期財政計画は、毎年毎年、必要な大きなライフラインのメンテとかそういうものについては反映しておりませんと。たまたま需要額との差額でいわゆる投資設計費

がどれだけ出てくるかということをカウントしているだけですよというような返事なのよね。行政の各セクションはそうかもしれませんが、全体をコントロールしている執行部としては、そういうことについてどうかと。

委員長 ; 5 番委員。質問を。

5 番委員 ; 補正を出したことの何で増えたか、増えたとしての責任を聞いておるわけよ。

委員長 ; 41 号に対しての質疑。他に質疑ございませんか。2 番委員。

2 番委員 ; 財源内訳のところで、考え方を教えていただきたいです。今回、国費ということで 2 千何万円、その他に財源を使っておられますが、それが一般財源と基金です。基金は先ほど 1 億 8,000 万円程の公共施設整備基金だったと思いますが、今回は事業債のほうを使わなかったということと、他それ以外ですね、要するに一般財源、基金をどういう割合でこういうふうに決めていったのか。素朴な質問ですがお願いします。

委員長 ; 財務課長。

財務課長 ; 今回の補正の目的としましては、小中学校に早期にエアコンを設置するということが一番の大前提でしたので、現時点で充当できるものを優先的に充てていったということでございます。内訳を申しますと、2 億 9,800 万円の内訳の中で交付金を除くと 2 億 7,000 万円ほど必要になってきたというわけでございますが、そこにまず現時点で国からの交付金等の額が決定しているもの、地方消費税交付金、地方交付税の増額分、こういったところを優先的に充てました。続いて固定資産税の中で償却資産相当の固定資産税が当初の予算より増えておりましたので、その固定資産税の増額分を充てました。残りを公共施設整備基金で補うという形で、現時点で考えられる財源を全て充てたうえで、不足分を基金から取り崩すといった考えで充当させていただいております。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; いろいろ考えられたと思いますが、公共施設積み立て基金。これは沢山増えていまずねという話もございまして、公共施設ということはエアコン設置みたいなことも入るんですかね。すごく幅の広い基金だなと正直、思っているんです。基金の額も多いのでこれで使えると思うんですけど、エアコンについてもこういうのは充当するんですかねという話です。他に使えるものがないか、仕方がないということなのか。その辺の基金の考え方を。

委員長 ; 財務課長。

財務課長 ; 今回の財源を充当していく中で、今、言いました交付税等の残りのところを何で充

てるかというところでは中でも随分議論しましたが、やはりこの中では公共施設整備基金を繰り入れて充当させるしかないのではないかと。小中学校も公共施設ですので、こういった観点からここを崩していくということを判断しました。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; 別の質問ですが、今回 3 馬力を 5 馬力に見直したということで、来年度から発生する電気代、維持管理コスト、ランニングコストですが、このコストは当初予算に入っているかなと理解しましたが、その負担分。エアコンを設置したことでどれぐらいの必要経費を見ているのか、それを教えて下さい。

委員長 ; 教育総務課長。

教育総務課長 ; 31 年度予算では設置が夏休みのところもありますので、8 月以降からということで 1 校当たり 30 万円で予算計上しており、合計で 630 万円を予定しております。32 年度以降、フルで使用すると 1,500 万円程ランニングコストが掛かると概算で見込んでおります。

委員長 ; 2 番委員。

2 番委員 ; そうしますとランニングコスト、電気代については全て当初予算の中に入っていて、補正をすとかそういったことは無いというような予定ですか。

委員長 ; 教育総務課長。

教育総務課長 ; 31 年度の 630 万円は 3 馬力で積算しておりますので、今回設置するものが 5 馬力から 10 馬力ですので、この 630 万円で不足する場合は補正予算で対応させていただきたいと思います。

委員長 ; 5 番委員。

5 番委員 ; 厳しい財政の中で子ども優先ということで取り組んだというかね、市長に判断してもらってやったわけだけども、最初から見積もりというか、補正と今回のを合わせて合計でいくら猛暑に対する対応処置として恵那市はこれに対応した、子どもの為にお金を使ったか。この額、絶対額を知りたい。これだけ腹をくくってやりますよと。子どものために考えておる恵那市ですと。

委員長 ; 5 番委員の質問わかります。教育総務課長。

教育総務課長 ; 設計から工事費まで合わせまして、8 億 8,920 万 7,000 円でございます。

委員長 ; 他にご質疑ございませんか。4 番委員。

4 番委員 ; 元に戻って申し訳ないんですけど、そもそも 4,600 万円で見積もりというか委託に出したよね。その 4,600 万円勿体なかったと思わない。この 3 億も狂うほどの見積もりを出してもらって、あんたんとうははい。はい。と聞いて予算して 3 億円足り

ません。それじゃあ通らんよ。その 4,600 万円はどうしたの。もうちょっと、しっかりした業者を選べなかったの。いくら慌てとっても。

委員長 ; 教育総務課長。

教育総務課長 ; 委託業務につきましては、4,200 万円出しておりますが、まだ設計は全て上がっていない状態での概算ですが、12 月議会の工事費は教室の面積から 3 馬力の能力の機器で積算したものであります。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; そうすると、予算を取った時は補正を出す前は職員がとった予算でとったわけ。4,200 万円の委託料は後から来たということ。そこまで慌てる必要があったかな。

委員長 ; 教育総務課長。

教育総務課長 ; 12 月で補正した際には、夏までにエアコン設置を間に合わせるために、工事を少しでも早く発注したいということで、12 月補正において概算で計上させていただいたものでございます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; でも、この間の答弁だと今度の補正の 3 億円近い金にも国の補助が付くという話はなかったっけ。

委員長 ; 教育総務課長。

教育総務課長 ; ブロック塀と冷房設備対応臨時交付金が今回、追加した普通教室と職員室と校長室の部分が変更交付されます。

委員長 ; 4 番委員。

4 番委員 ; 補正で付けたものにも国の補助が付くなら、なんでそんなに慌てなんの。半分になっちゃうとか、そういうなら分かるけど。そこまで慌てて予算を出して補正に 3 億なんて出す必要があったのかどうか。

委員長 ; 教育総務課長。

教育総務課長 ; 国の交付金につきましては、30 年度の予算が対象となりますので、今回の追加補正の部分までが対象になります。

委員長 ; 他にご質疑ございませんか。3 番委員。

3 番委員 ; 今の交付金の対象になるのは分かるけど、要するに一番最初申請したときは、市の見積りの金額で申請をした。それで交付金が決まってくるということになる。そうすると詳細設計をしたら 2 億どれだけが上がっちゃったと、それに対して交付金は増額をしてくれるのか、当初のあれでいっとるので、そこで終わっちゃうのか。追加の分だけはやってくれても、そこんとこだけちょっと教えて。

委員長 ; 教育総務課長。

教育総務課長；交付金につきましては、3月上旬に国から変更の交付金の案内がきまして、国でもまだ余裕があるということで、今回対象が普通教室だけでしたけれども、交付金の対象が特別教室も該当になりましたので、その分も増やしてあります。

委員長；3番委員。

3番委員；追加でというのは分かるけど、当初の4,000 どんだけ掛かるということで交付金の申請しとるわけやら。それに対して交付額が決まってくるけど、やってみたら2億 どんだけになっちゃったと。その増えた分に対しても同じように交付金をくれとるのかどうかということ。

委員長；教育委員会事務局長。

教育委員会事務局長；まず最初に、先ほど質問がありましたブロック塀冷房設備対応臨時特例交付金は、平成30年度の暑さをうけて国が今回のみ手当てしてくれたものであって、次年度以降は措置されるものではありません。今、ご質問の件につきましては、国の交付基準では、平米単価が1平米あたり2万3,000円と決まっております。国の学校の標準規模は12学級から18学級ということで、この規模を基準として算定したものが2万3,000円という単価があります。恵那市の学校は小規模ですので、効率が悪く少し平米単価が高い状況です。それを比較したときに、当初の段階から既に恵那市の単価は2万3,000円以上となっておりまして、今回、工事費を追加したことによっても、国の基準の単価のままということになり、工事費の増額によって交付金が増えるものではありません。ただ、面積につきましては先ほど教育総務課長が言ったとおり、特別教室や職員室が対象となってきているものでございます。

委員長；4番委員。

4番委員；そうすると4,200万円で委託業者に出した見積もりは、一番始めの予算には全然反映してないわけやね。職員自分で出した。後から業者に出したのが来たら開けてびっくりの数字だったということ。

委員長；教育総務課長。

教育総務課長；当初、積算したときは過去に実施したところの参考と、教室の面積から見て3馬力でいいということで判断しましたので、今回4,200万円出した設計費のことは参考にはしてないです。

委員長；5番委員。

5番委員；トータルで8億8,900万円、これの中にはこども園のほうも含めてでしょうか。別でしょうか。

委員長；教育総務課長。

教育総務課長；8億8,900万円にはこども園の経費は含まれておりません。小中学校のみでございます。

委員長；教育委員会事務局長。

教育委員会事務局長；こども園は既に契約が済んでおりまして、すべて発注しております。全部で11園で42機設置しまして、総額で7,990万円でございます。

委員長；5番委員。

5番委員；今朝もやまびここども園は業者が来てみえましたので、今やってみえるということですね。

委員長；教育委員会事務局長。

教育委員会事務局長；こども園につきましては、山岡こども園を除いて3月中には全部完成します。山岡こども園につきましては、今のところの工程では4月上旬が工期となっておりますので、4月上旬には全園で設置済となる予定であります。

委員長；他にご質疑ございませんか。3番委員。

3番委員；一点だけ言っておきます。教育総務課長も言われたように、その職員が見積もりをしたというのは分かるんだけど、職員にそれだけの知識があって、きちっとやってくれるんならいいけども、やっぱり建築の職員だとか、そういう連中が行ってきちっと見て、ここの教室には何馬力くらいが必要だと、これ普通の業者が見れば分かるわけだ。電気業者でも空調の業者でもちょっと見ればこれにはどれだけの物が必要だよというのが分かるもので、そういうところを頼んででも、どんだけ掛かるんだということをやっておけば、恐らくこれほどの差が出てこんと思う。やっぱり当初の予算を立てるときでも、そういうきちっとした調査とかいろんなことをして予算を組んでおかんと、どうしてもこういうことが出てくる。本来であれば普通だとぐっと高い見積もりしといて、入札掛けましたら落ちましたということならみんなそれほど文句は言わんわ。けども、まったく低い見積もりしといて、それでいけますよということでやっておいて、設計かけたらまだ足りませんでしたというのは、やっぱりどうやって聞いとつても、職員がもうちょっときちんとした対応を取っとれば、そんなことやらんでも済むはずだもので、そういうことだけはこれからきちっと対応していつてもらわんと。すべての面がそういうことになってくると思うので、そいつだけはこれから気をつけてやってもらわんと、あれだと思いますので。

委員長；強く要望をしておきます。他にご質疑ございませんか。

（「なし。」と言う者あり）

委員長；ご質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」と言う者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただ今から採決を行います。

「議第 4 1 号 平成 3 0 年度 恵那市一般会計補正予算 (第 7 号) (歳入歳出所管部分)」は原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; ありがとうございます。全会一致であります。よって、「議第 4 1 号」は原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 ; 恵那文化センター所長。

恵那文化センター所長 ; 先ほどの文化センターの大ホールの天井耐震化等工事の入札の 2 番札の件でございますが、1 億 9,278 万円で 99.55%でございます。よろしくお願いします。

委員長 ; 以上で予定の議題を全て終了しました。

最後に、本会議における委員会審査結果報告書作成については、正副委員長に一任いただくことにご異議ございませんか。

(「異議なし。」と声あり)

委員長 ; ありがとうございます。それではこれもちまして、平成 31 年第 2 回総務文教委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後 2 時 27 分閉会

恵那市議会委員会条例第 30 条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 総務文教委員長 堀 井 文 博